



## 《基本理念》

市と市民の協働による男女平等社会の実現に向け、性別に関わりなく、男女がそれぞれの個性と能力を十分に発揮し、多様性を認め合える男女共同参画社会をめざします。



## 基本目標Ⅰ 男女平等教育・啓発の推進

### 状況1 各分野における男女の地位の平等感【調査結果】



- ・「男性優遇」と「女性優遇」という意見の割合を比較すると、個別の分野の項目、社会全体のいずれも「女性が優遇されている」よりも「男性が優遇されている」という意見の方が多くなっています。
- ・「平等」が最も多い項目は、「学校教育の場」、「自治会やNPOなどの地域活動の場」のみとなっており、社会全体、各分野とも男性優遇が根強く感じられる状況です。

### 状況2 DV、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪、売買春などの防止【調査結果】

- ・配偶者や恋人などからの暴力であるDV（ドメスティック・バイオレンス）をはじめとし、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪、売買春などを防止するために必要な対応策としては、啓発にとどまらず、法律・制度の見直しをはじめとした、実効性ある取り組みを求める意見が多くなっています。特に、DVは用語の認知度として84.6%で、社会課題として広く知られていることがわかりました。
- ・今回の計画でも、「女性に対する暴力の根絶」を課題の一つとしており、この部分は「豊明市DV対策基本計画」としても位置づけています。



### 主な取組と指標

- (1) 家事・育児・介護などの家庭生活に関する講座やセミナーの開催など、男女共同参画に関する学習ができる機会を充実します。
- (2) 市役所が発行する広報をはじめとした出版物等の作成にあたっては、男女共同参画の視点に立って適切な広報活動を行うことを促進します。また、メディア・リテラシー（※1）について理解を深め、情報提供に努めます。

| 指標              | 算出方法                                 | 25年度  | 36年度  |
|-----------------|--------------------------------------|-------|-------|
| 男女の地位の平等についての評価 | 男女共同参画市民意識調査で社会全体において男女が「平等」と答えた人の割合 | 17.3% | 50.0% |
| 虐待、DVの件数        | 虐待、DVと認定された件数（年間）                    | 59件   | 29件   |

※1 新聞、雑誌、テレビ、インターネット等から発信される様々な情報をただ受動的に受け止めるだけでなく、それぞれのメディアの特性を理解し、自分自身で主体的に判断・評価し正しく使いこなす能力のこと。

## 基本目標Ⅱ 社会参加における男女共同参画の推進

### 状況3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」【調査結果】

・「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という固定的な役割分担についての調査の結果は、「賛成派」が「反対派」を上回り、全国調査と比較しても、本市の結果は反対する人の割合が低くなっています。特に、男性は全国調査に比して、賛成が多く、反対が少ないことから、この傾向が強いと言えます。

|      |     | 賛成   | 反対   |
|------|-----|------|------|
| 全体   | 豊明市 | 44.3 | 41.0 |
|      | 国   | 44.6 | 49.4 |
| (女性) | 豊明市 | 40.4 | 45.4 |
|      | 国   | 43.2 | 51.7 |
| (男性) | 豊明市 | 50.2 | 38.0 |
|      | 国   | 46.5 | 46.5 |

本市の調査結果は、「賛成」が「反対」を上回っています。「反対」の割合は、全体、男女別いずれにおいても、全国調査に比して本市の方が少ないことから、固定的な役割分担を支持する人が多いと言えます。

(国調査出典：内閣府「女性の活躍推進に関する世論調査」2014年度)

### 主な取組と指標

- (1) 広報、研修会等を通じて、社会的な男女の役割意識に対する固定観念、世代間の見方や考え方の見直しを図ります。
- (2) 誰もが助け合い、支えあう地域社会の構築に向けて、固定的な性別役割分担意識をなくし、地域・学校等への行事に男女の区別なく対等に参画できるよう、区・町内会等の地域組織における女性の役職者登用を働きかけます。

| 指標               | 算出方法                        | 25年度 | 36年度  |
|------------------|-----------------------------|------|-------|
| 町内会長・区長に占める女性の割合 | 町内会・区に占める女性役職者の割合<br>(4月1日) | 6.0% | 18.8% |

# 基本目標Ⅲ 生涯にわたる安心・安全な生活の確保

## 状況 4 仕事・家庭・地域のバランスについて【調査結果】

・仕事・家庭・地域のバランスについて希望と現実ではどのような違いがあるかを確認すると、男性・女性ともに希望としては家庭を優先する声が多く、一方で、現実には男性は仕事を女性では家庭を優先している人が最も多くなっています。

| 優先するもの       | 希望   |      | 現実   |      |
|--------------|------|------|------|------|
|              | 女性   | 男性   | 女性   | 男性   |
| 「仕事」         | 2.4  | 9.1  | 17.9 | 37.9 |
| 「家庭」         | 28.7 | 25.6 | 38.3 | 21.2 |
| 「地域・個人」      | 4.3  | 4.4  | 2.7  | 3.8  |
| 「仕事」と「家庭」    | 23.4 | 24.5 | 19.6 | 18.1 |
| 「仕事」と「地域・個人」 | 2.2  | 3.0  | 1.7  | 2.2  |
| 「家庭」と「地域・個人」 | 15.9 | 15.4 | 9.4  | 7.7  |
| 3つとも         | 21.7 | 17.1 | 5.8  | 6.0  |
| その他          | 0.5  | 0.0  | 1.5  | 0.8  |
| 分からない        | 1.0  | 0.8  | 3.1  | 2.2  |
| 無回答          | —    | —    | —    | —    |

男性では仕事を、女性では家庭を優先せざるを得ない状況になっていると言えます。



## 主な取組と指標

- (1) 高齢者を対象にした学習機会や就労機会の提供、老人クラブ活動の充実など、高齢者の生きがい支援と社会参加を推進します。
- (2) 生涯にわたり身心ともに健やかに暮らすために必要な、家族やパートナーをはじめ、社会全体での健康維持に関する意識啓発や情報提供を行います。

| 指標                            | 算出方法                           | 25年度  | 36年度  |
|-------------------------------|--------------------------------|-------|-------|
| 人生が楽しいと感じている高齢者の割合<br>(65歳以上) | アンケート調査で「人生が楽しいと思う」と回答した高齢者の割合 | 75.2% | 85.7% |

# 基本目標Ⅳ 計画の推進・評価

## 状況 5 女性が増えるとよいと思われる職業や役職【調査結果】

| 項目                         | %    | グラフ                       |
|----------------------------|------|---------------------------|
| 国会議員, 都道府県議会議員, 市(区)町村議会議員 | 42.8 | 議員、首長に女性が増えることを望んでいます。    |
| 都道府県, 市(区)町村の首長            | 35.1 |                           |
| 企業の管理職                     | 34.8 | 管理職への女性登用を望む市民は3割を超えています。 |
| 国家公務員・地方公務員の管理職            | 33.0 |                           |
| 裁判官, 検察官, 弁護士              | 27.2 |                           |
| 起業家・経営者                    | 24.4 |                           |
| 区長, 町内会長等                  | 22.0 |                           |
| 労働組合の幹部                    | 19.5 |                           |

・調査結果は、議員、首長といった政策決定に関わる役職や企業・公務員の管理職に女性が増えることを望む意見が30%を超える結果となりました。

上位8職業等



## 主な取組と指標

- (1) 職員に対して育児・介護休業の取得や年次休暇取得を呼びかけるとともに、仕事と生活の両立を可能にする職場環境の整備を行います。
- (2) 政策・方針決定過程へ女性の参画を拡大するため、個人の適性、能力を踏まえ、管理職への女性の登用を促進します。また、管理職にふさわしい人材育成・能力開発を行います。

| 指標              | 算出方法                   | 25年度  | 36年度  |
|-----------------|------------------------|-------|-------|
| 男性の育児（介護）休暇取得者数 | 男性が育児（介護）休暇を取得した人数（年間） | 1人    | 18人   |
| 市職員女性管理職登用率     | 課長補佐以上の管理職             | 24.2% | 36.4% |

（今回使用した市の調査結果は平成26年1月に実施したものです。）

## 施策体系

### 基本目標Ⅰ

#### 男女平等教育・啓発の推進

##### 1 男女平等教育の推進

- (1) 学校教育等における男女平等教育の推進
- (2) 生涯学習及び地域での教育の推進

##### 2 男女共同参画意識の啓発

- (1) 市民への啓発事業の推進
- (2) 新しい家庭文化創造の推進

##### 3 人権の尊重

- (1) 性の尊重
- (2) 女性に対する暴力の根絶
- (3) 人権侵害に対する救済

### 基本目標Ⅱ

#### 社会参加における男女共同参画の推進

##### 1 地域社会での男女共同参画の推進

- (1) 自立的・自主的な市民活動の推進
- (2) 男女平等の地域コミュニティの活性化

##### 2 就業における男女平等

- (1) 就労支援の推進
- (2) 雇用環境整備の働きかけ
- (3) 企業等への啓発

### 基本目標Ⅳ 計画の推進・評価

- 1 推進及び評価 (1) 計画推進体制の整備 (2) 評価体制の確立 (3) 調査・研究  
2 庁内体制の整備 (1) 推進組織の整備 (2) 意識改革の推進

### 基本目標Ⅲ

#### 生涯にわたる安心・安全な生活の確保

##### 1 次世代育成支援

- (1) 総合的な子育て支援
- (2) 子どもへの虐待防止

##### 2 高齢者・障がい者支援

- (1) 高齢者・障がい者福祉の充実
- (2) 過重負担の解消

##### 3 心と身体の健康支援

- (1) 健康維持支援

##### 4 社会的支援の拡充

- (1) 災害時における女性等への配慮
- (2) 外国人に向けた支援

## 男女共同参画標語・川柳

平成27年度受賞作

【最優秀賞】 夢や希望 持てる権利は 皆同じ

【優秀賞】 クラスでは 男女協力 合い言葉

さべつなし 明るい未来へ レッツゴー

平等に 描こう新たな 未来図を

区切るより つなげてみよう 男女の輪

聞こえてる？ 大事な人の 心の声

【佳作】 境界線 そんなのないよ みんなの未来

両親が いっしょに料理 愛いっぱい

足らぬとこ おたがいおぎない 豊かな社会

男女間 壁ありや一緒に ぶち壊せ！

言うだけで 行動しなきゃ 変わらない

岡崎稜也 栄中学校

吉田望々花 中央小学校

放生樹 沓掛小学校

轡田ゆうか 栄中学校

野澤龍之介 栄中学校

石橋幸奈 星城高校

大杉美央佳 大宮小学校

鈴木優騎 栄小学校

石川りの 沓掛中学校

櫻木建吾 沓掛中学校

奥村駿人 豊明高校

(敬称略)

### 第3次とよあけ

#### 男女共同参画プラン

##### 【概要版】

発行年月

平成28年1月

発行

豊明市

編集

豊明市

市民生活部

市民協働課

TEL

(0562) 92-8306